

令和5年度 第1回国立大学法人静岡大学長選考・監察会議議事録

日 時 令和5年4月26日（水）16時3分～18時21分

場 所 事務局4階学長応接室

出席者 大石、栗村、鈴木、望月、金原、田中、山本、福田の各委員

陪席者 河島監事、佐藤事務局長、依藤総務部次長

事務局 杉山総務課長、杉山総務課副課長

I 前回議事録の確認

令和4年度第7回学長選考・監察会議（令和5年3月28日開催）議事録（案）、発言録、まとめ（案）について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1 副議長の選出について

事務局から、資料1により、副議長の選出について説明があり、審議の結果、山本委員を副議長に選出した。

2 学長選考の現状と課題について

審議事項2に先立ち、議長から、今年度の本会議の主なミッションは、学長の中間評価の実施、学長選考に係る課題の検討、及び「次期静岡大学長の選考に係る基準」の策定に着手することの3点であるとの説明があった。

続いて、議長から、昨年度までの会議での問題意識の共有や議論の継続性のため、資料2により、令和3年度第1回会議において、当時の議長が作成し説明された「学長選考の現状と課題について論点の整理」についての紹介があった。

3 前会議からの申し送り事項の確認について

議長及び事務局から、資料3により、前会議から令和5年度学長選考・監察会議への申し送り事項について、学長選考に係る課題の説明があった。次年度に学長選考を控え、その手続きについて今年度に改正が見込まれることから、本会議の審議の状況について、教育研究評議会において副議長から随時報告を行うことを確認した。

議長から、学長選考に係る課題の検討にあたり、新任の委員に対し、前学長選考のプロセス確認のため、議事録等の書面を後日事務局から送付するので確認いただきたいとの依頼があった。続いて、各委員に対し、意向投票について次回会議で議論を行うため、現時点での意見を提出いただきたいとの依頼があり、令和3年度第7回会議資料により、各委員が次回会議までに意向投票の取扱いについて意見を提出することとした。委員から、学長選考の流れについて、前回との対比や検討すべき事項を示した資料の要望があり、後日、事務局から送付することとした。

金原委員から、Hグループ所属大学の学長選考・監察会議の委員数について学生数とあわせて紹介があり、大学の規模やその職責に対して、本学の委員数は少ないのではないかとの意見、さらに議長から、現在の会議の回数、開催時間についても問題意識を持っているとの意見があった。

鈴木委員から、会議の運営について、学長選考に関する議題と監察に関する議題を明確に分けて行うことの提案があり、今年度の本会議のスケジュールについて「学長選考」と「監察」の区分に分け、各回の審議事項及び所要時間を示したうえで、後日、事務局から委員に送付することとした。

4 学長の業績評価（中間評価）について

議長及び事務局から、資料4により、中間評価の実施方法、昨年度実施した1年目の業績確認の概要、学長作成の自己評価書の様式案、及び中間評価のスケジュールについて説明があり、種々意見交換を行った。自己評価書の様式案については1年目の業績確認における課題の改善点の記載を含めること、次回会議で学長へのヒアリングを実施すること、ヒアリングでは、自己評価書をもとに学長自身の取り組みを中心に重要な事柄についての説明を学長に依頼すること、ヒアリング終了後に委員間での意見交換を行い、委員の意見をまとめること、その他会議が必要と認める資料として、「第4期中期目標・中期計画一覧表」を参照すること、及び1年目の業績確認時の資料を委員間で共有することを確認した。

III 報告事項

1 学長選考・監察会議委員について

議長から、資料1により、鳥居委員の退任に伴い、本日開催された経営協議会で、本会議の学外委員に大石委員が選出されたこと、並びに学内委員の任期満了に伴い、4月19日開催の教育研究評議会で、金原、田中、山本、福田の各委員が選出されたことの報告があった。

IV その他

1 令和5年度 学長選考・監察会議の開催予定等について

事務局から、資料5により、令和5年度の本会議開催予定の変更点について、説明があった。

以上